

天文観測施設めぐり (IV)

東 北

東北地方で一般公開している観測施設は大変少ない。そのためか天文普及率も他の地方と比較すると大変に低い。冬期間は、ほとんど曇りか降雪と言う気候的悪条件も伴っていると思われる。しかし、近年アマチュアの間でも小さな天文台、観測所なるものを建設して、地域天文活動に寄与している事は、大変うれしい事である。

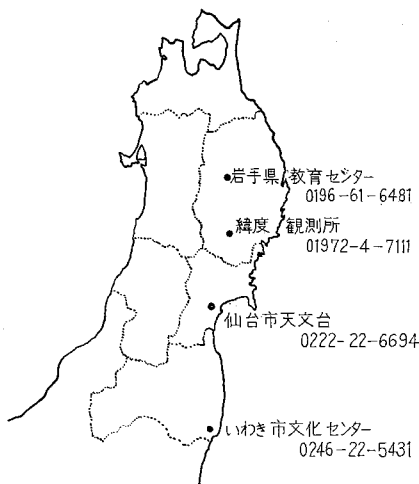
東北地方で大変由緒のある観測施設としては、明治32年に設立された水沢の緯度観測所であろう。純然たる研究施設であるために天体観測等の公開は行なっていないが、毎週火曜日9時~16時(除屋休み)の間研究業務及び施設の案内だけを行なっている。緯度変化研究の世界的な施設であるから折をみて見学すると良いであろう。

アマチュアの間で大変親しまれている施設としては、昭和30年に設立された仙台市天文台であろう。41cm 屈赤、15cm 屈折、プロミネンスアダプター、天体写真儀、20cm 反射等数々の観測器械を備えている。毎週土曜日の19時~21時まで夜間天体観測を行なう。また、特別な天体現象があると土曜日以外にも行なわれる。日中は、常時太陽面を観測しているから見学可能である。

新しい施設としては、昭和50年に設立されたいわき市文化センターがある。5m ドーム内には、20cm 屈赤が据え付けられてあり、毎週金曜日の21時まで一般公開を行なっている。また、市内天文愛好会には、週1回程度一般公開とは別に貸している。

その他には、各県に教育センターがあるが教員研修がたてまえであるため一般公開は行なわれていない。しかし、その中で岩手県教育センター(20cm 屈赤)だけは、責任者の引率する団体には見学という形で公開している。近い内に、岩手県江刺市種山少年自然の家が出来

cm 級の反射が設置されそうである。(小石川正弘)



◇ 4 月 の 天 文 暦 ◇

日 時	記 事
1 0	下 弦
23	水 星 留
5 13	清 明 (太陽黄経 15°)
20	冥王星 留
8 0	朔
12 2	水 星 内合
14 19	月 最遠
15 23	上 弦
20 20	穀 雨 (太陽黄経 30°)
23 13	望
24 11	水 星 留
26 4	土 星 留
17	月 最近
30 6	下 弦

◇ 4 月 の 日 月 惑 星 運 行 図 ◇

